

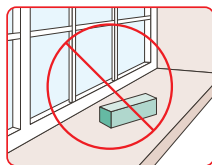
# デュピクセント®

## 皮下注200mg/300mgシリンジの使用方法

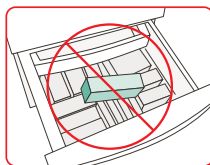
監修 | いがらし皮膚科東五反田 院長 五十嵐 敦之 先生

### 1 注射器の保管

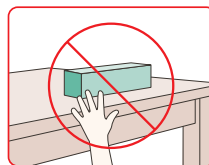
- ☑ 注射器は箱に入れたまますぐに冷蔵庫に入れ、2～8℃で保管する
- ☑ 注射液が凍ってしまう可能性があるため、チルド室、野菜室、冷蔵室の冷気の吹き出し口付近で保管しない



高温、直射日光にさらさないでください。



冷凍庫には入れないでください。



お子さまの手の届かないところに置いてください。

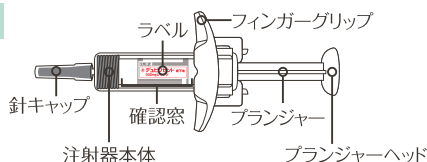
⚠ 注意 • 注射器は、振ったり、温めたり、凍らせたりしないこと

### 2 注射前の準備

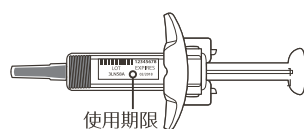
- ☑ 箱を冷蔵庫から取り出す
- ☑ 注射器本体を持って箱から取り出し、ラベル表側を見て「デュピクセント®皮下注200mgシリンジ」または「デュピクセント®皮下注300mgシリンジ」であることを確認する
- ☑ ラベル裏側を見て、使用期限が切れていないことを確認する
- ☑ 確認窓から、注射液が無色または薄い黄色で、濁っていないことを確認する
- ☑ 200mgシリンジの場合は30分以上、300mgシリンジの場合は45分以上、平らな場所に置き、室温に戻す



ラベル表側



ラベル裏側



※イラストは300mgシリンジのもので

- ⚠ 注意 • 使用期限が切れている場合は使用しないこと
- 固いところに落としたり、破損があったり、針キャップが紛失またはしっかり取り付けられていなかったりする注射器は使用しないこと
- 確認窓から見て、注射液が本来の色(無色または薄い黄色)と違うまたは濁っている場合、注射液中に粒子などがみられる場合は使用しないこと
- 冷蔵庫から出した後は長時間放置しないこと
- 注射前の準備が整うまで、針キャップを外したり、プランジャーに触れたりしないこと

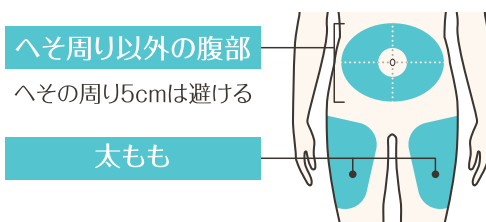
ご自身で注射される場合はこのまま右ページの③～⑨を、ご家族が注射される場合は裏面の③～⑨をご参照ください

## ご自身による在宅自己注射の手順

### 3 注射する部位を選び、消毒する

注射に適した部位は、へそ周り以外の腹部、  
太もも(右図参照)

- 両手を石けんでよく洗い、清潔なタオルで手を拭いた後、消毒用アルコール綿で注射部位を消毒する
- 注射をする前に消毒した皮膚を乾かす  
※消毒用アルコール綿は注射器の箱には入っていません



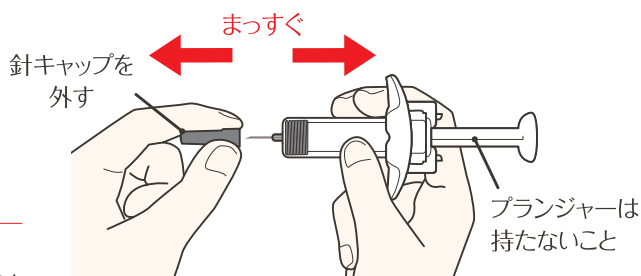
- ▲ 注意**
- 消毒後は注射部位に触れたり、息を吹きかけたりしないこと
  - 衣服の上から注射しないこと
  - アトピー性皮膚炎の症状が重い部位、痛みがある部位、けがをしている部位、打撲や傷跡のある部位はさけること
  - 前回注射した部位とは違う部位に注射すること
  - 腹部に注射する場合は、上図のように上下左右で4ヵ所に分けて前回の注射とは別の部位を選んで注射すること

### 4 針キャップを外す

- 注射器本体の**中央部を持ち**、  
針キャップを外す

**▲ 注意**

- 注射直前まで針キャップを外さないこと
- 一度外した針キャップは再度取り付けないこと
- 注射針には触れないようにすること
- 針キャップを外したら、針が他の物と接触しないようにし、素早く注射すること
- 注射器内に気泡が見られる場合があるが、取り除く必要はない
- プランジャーは絶対に後ろに引かないこと

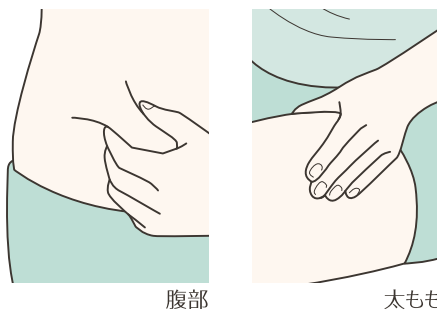


### 5 皮膚をつまむ

- 注射針をしっかり挿入するために、  
注射する部位の**皮膚をひだ状につまむ**

**▲ 注意**

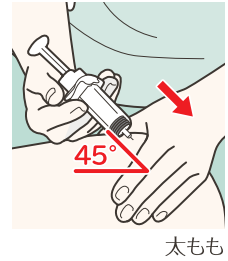
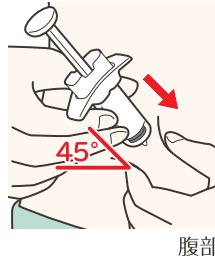
- 衣服の上から注射はしないこと



## 6 約45度の角度で注射針を挿入

- 注射針をひだ状にした皮膚に  
**約45度の角度**で完全に挿入する

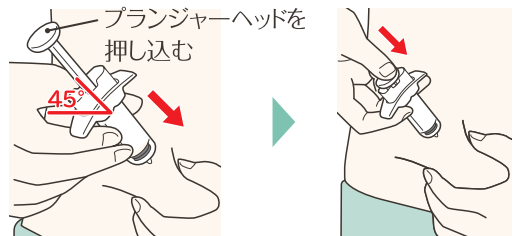
☑ しびれがある場合は針先を少し引く



## 7 注射液を注入する

- 注射針を完全に挿入したら、  
**皮膚をつまんでいる手を緩める**
- 注射液がなくなるまで、  
**プランジャーヘッドをゆっくり押し込む**
- 注射の際に抵抗を感じても問題はないので、  
ゆっくり押し

☑ プランジャーヘッドを最後までしっかり押し込むこと

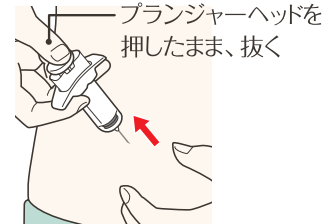
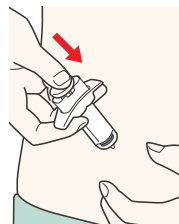


### ⚠ 注意

- 注射液は1回の注射で全量使い切り、再利用はしないこと

## 8 プランジャーヘッドを押したまま、注射針を抜く

- 皮膚をつまんだ手を離す
- 挿入したとき  
**同じ角度(約45度)**で、  
注射針を抜く



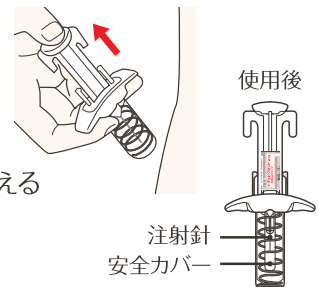
## 9 注射後

- 注射針を抜いた後に、プランジャーヘッドを押していた指を  
ゆっくりと緩める
- 出血がある場合は、消毒用アルコール綿で注射部位を軽く押さえる

### ⚠ 注意

- 注射が終わった後も、針キャップは再度取り付けないこと
- 注射後、注射部位をもんだり、こすったりしないこと
- 注射器は再利用しないこと

☑ 注射針が安全カバーに覆われる



## ご家族による在宅自己注射の手順

### 3 注射する部位を選び、消毒する

注射に適した部位は、上腕部(二の腕)の外側、へそ周り以外の腹部、太もも(右図参照)

- 両手を石けんでよく洗い、清潔なタオルで手を拭いた後、消毒用アルコール綿で注射部位を消毒する
- 注射をする前に消毒した皮膚を乾かす  
※消毒用アルコール綿は注射器の箱には入っていません

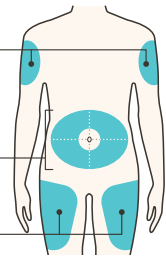
上腕部(二の腕)の外側

ご家族が患者さんに注射する場合は、上腕部(二の腕)に注射することも可能です。

へそ周り以外の腹部

へその周り5cmは避ける

太もも



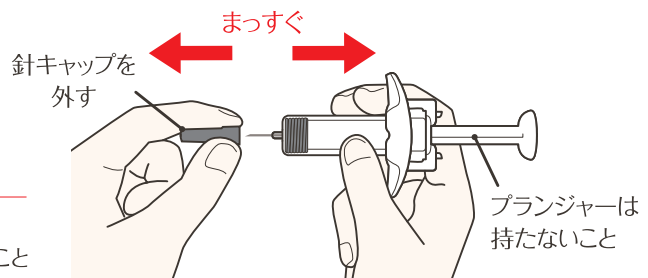
- ▲ 注意**
- 消毒後は注射部位に触れたり、息を吹きかけたりしないこと
  - 衣服の上から注射しないこと
  - 12歳未満のお子さまへの注射は、ご家族が行うこと
  - アトピー性皮膚炎の症状が重い部位、痛みがある部位、けがをしている部位、打撲や傷跡のある部位はさけること
  - 前回注射した部位とは違う部位に注射すること
  - 腹部に注射する場合は、上図のように上下左右で4ヵ所に分けて前回の注射とは別の部位を選んで注射すること

### 4 針キャップを外す

- 注射器本体の**中央部を持ち**、針キャップを外す

**▲ 注意**

- 注射直前まで針キャップを外さないこと
- 一度外した針キャップは再度取り付けないこと
- 注射針には触れないようにすること
- 針キャップを外したら、針が他の物と接触しないようにし、素早く注射すること
- 注射器内に気泡が見られる場合があるが、取り除く必要はない
- プランジャーは絶対に後ろに引かないこと



### 5 皮膚をつまむ

- 注射針をしっかりと挿入するために、注射する部位の**皮膚をひだ状につまむ**

**▲ 注意**

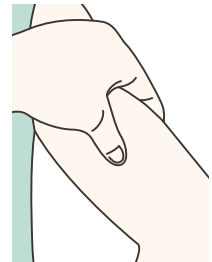
- 衣服の上から注射はしないこと



腹部



太もも

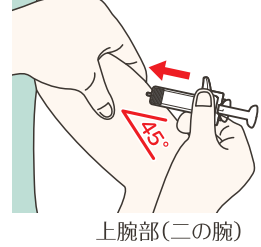
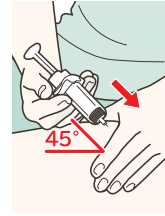
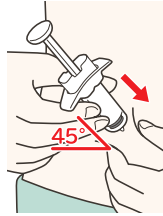


上腕部(二の腕)

## 6 約45度の角度で注射針を挿入

- 注射針をひだ状にした皮膚に  
**約45度の角度**で完全に挿入する

- ☑ しびれがないかどうか確認し、しびれがある場合は針先を少し引く

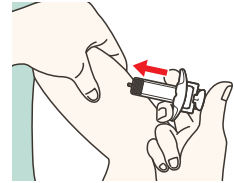
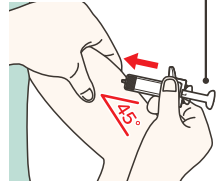


## 7 注射液を注入する

- 注射針を完全に挿入したら、**皮膚をつまんでいる手を緩める**
- 注射液がなくなるまで、**プランジャーヘッドをゆっくり押し込む**
- 注射の際に抵抗を感じても問題はないので、ゆっくり押す

- ☑ プランジャーヘッドを最後までしっかり押し込むこと

プランジャーヘッドを押し込む



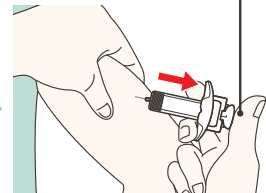
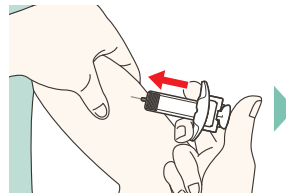
**⚠ 注意**

- 注射液は1回の注射で全量使い切り、再利用はしないこと

## 8 プランジャーヘッドを押したまま、注射針を抜く

- 皮膚をつまんだ手を離す
- 挿入したとき**同じ角度(約45度)**で、注射針を抜く

プランジャーヘッドを押したまま、抜く

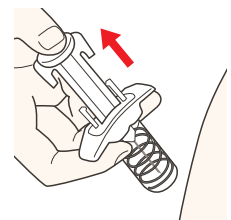


## 9 注射後

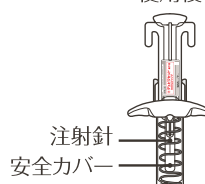
- ☑ 注射針を抜いた後に、プランジャーヘッドを押していた指をゆっくりと緩める
- ☑ 使用後は安全カバーがスライドして注射針が安全カバーに覆われる
- ☑ 出血がある場合は、消毒用アルコール綿で注射部位を軽く押さえる

**⚠ 注意**

- 注射が終わった後も、針キャップは再度取り付けないこと
- 注射後、注射部位をもんだり、こすったりしないこと
- 注射器は再利用しないこと



使用后



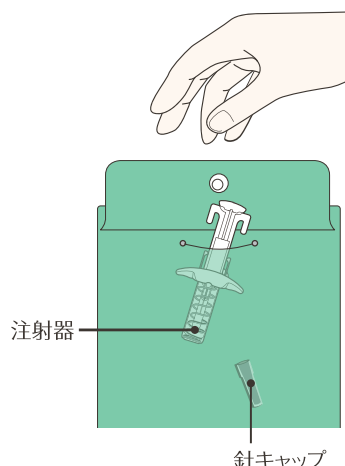
# 注射器の廃棄方法

## 10 注射器と針キャップを廃棄する

- 使用済みの注射器と針キャップは廃棄用容器に入れ、医療機関の指示に従って医療廃棄物として廃棄する
- 針キャップは注射器に取り付けず、**外したまま** 廃棄用容器に入れる

### ⚠ 注意

- 使用済みの注射器と針キャップは、速やかに廃棄用容器に収納する(廃棄用容器がない場合は、蓋つきのビンや缶などの固い容器でも代用可能)
- 使用済みの消毒用アルコール綿は、各市区町村の収集方法に従って家庭ごみとして捨てること
- 廃棄用容器は、お子さまの手の届かないところに保管すること
- 廃棄用容器は再利用しないこと



## ? よくあるご質問

Q1 注射予定日に注射するのを忘れてしまいました。どうすればよいですか？	A1 主治医に連絡し、主治医の指示に従ってください。
Q2 指示された本数よりも、多く注射してしまいました。どうすればよいですか？	A2 すぐに主治医に連絡し、主治医の指示に従ってください。
Q3 デュピクセント®と一緒に他の薬も処方されました。使ってもよいのでしょうか？	A3 処方されている塗り薬や飲み薬、吸入薬などは指示された通りに使用しましょう。自己判断で中止しないでください。
Q4 何時ぐらいに注射するのがよいのでしょうか？	A4 注射時間に特に決まりはありません。ご都合のよい時間帯に注射してください。
Q5 体調が悪いのですが、予定通りに注射しても大丈夫でしょうか？	A5 自己判断はしないで主治医に連絡し、主治医の指示に従ってください。
Q6 注射予定日に旅行や出張が重なってしまいました。どうしたらよいですか？	A6 注射予定日に外泊することが分かったら、あらかじめ主治医に相談してください。
Q7 注射が痛いのですが、痛みをやわらげる方法がありますか？	A7 注射液が冷たすぎると痛みを感じやすくなるため、しっかりと室温に戻してから注射してください。 注射器は、200mgシリンジの場合は注射の30分以上前、300mgシリンジの場合は注射の45分以上前に冷蔵庫から取り出しておきます。 痛みが続く場合は主治医に相談してください。

デュピクセント®の操作方法と医療費制度へのご質問は、デュピクセント®相談室へお問い合わせください

専任  
スタッフが  
対応します

## デュピクセント®相談室



0120-50-4970

1 操作方法へのご質問  
24時間365日

2 医療費制度へのご質問  
平日9:00~17:00

※ 2 は医療費制度のご説明のみとなります。個人の治療費に関するご質問にはお答えできません。また、自治体独自の助成については市区町村の窓口へお問い合わせください。

※ デュピクセント®相談室では、応対品質の向上を目的として通話を録音しています。あらかじめご了承ください。

サノフィ株式会社 リジェネロン・ジャパン株式会社

〒163-1488  
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号